

2020年6月4日

株式会社 山陰合同銀行

日南町有林J - クレジット売買契約調印式の開催について ～「エネルギーの地産地消」と「J-クレジット購入」でSDGsの実現へ貢献～

山陰合同銀行（頭取 石丸 文男）では、地域の環境保全活動の一環として、ふるさとの森林整備に由来するJ - クレジットを活用したカーボン・オフセットの取組支援を行っています。

このたび、2020年6月5日（金）に鳥取県日南町（町長 中村 英明）と株式会社中海テレビ放送（代表取締役社長 加藤 典裕）との間で「日南町有林J-クレジット売買契約調印式」が開催されることとなりましたのでお知らせいたします。

株式会社中海テレビ放送は、「情報の地産地消」を掲げ、鳥取県西部圏域で放送・通信サービスを中心に事業展開されています。その傍ら、「NPO法人中海再生プロジェクト」事務局の運営を通じて長年にわたり中海の水質改善活動に取り組まれる等、地域貢献活動を積極的に推進しておられます。

また、2016年には電力小売事業に参入され、電力の地域内循環を通じた「エネルギーの地産地消」の実現を目指し、地域に根ざしたサービスを展開しておられますが、今般のJ - クレジット売買契約は、昨年に続き電力小売事業の契約数に応じたJ - クレジットを購入する取り組みです。これにより、同社は地域の森林保全・整備による環境貢献に継続的に取り組んでいかれるのと同時に、購入したJ - クレジット23 t-CO₂を活用し、同社の事業活動により排出される温室効果ガスの一部を自主的にカーボン・オフセットされます。

当行は2010年より環境保全への貢献のため、J - クレジット取引の拡大を支援促進する地域コーディネーター（仲介者）として、制度の周知・普及や新しいクレジット創出の支援に努めてまいりました。これまで売買を仲介し、契約が成立した案件は、本件を含め延べ80件、数量は3,863 t-CO₂となっています。今般、この活動について、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部より「令和元年度地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」として選定・表彰されました。

近時は環境問題への関心の高まりを受け、地域コーディネーターとしての仲介実績は増加傾向にあります。当行は、地域の環境保全や気候変動対策を通じたSDGsの実現と、環境貢献を通じた企業価値の向上を目指し、今後もJ - クレジットの活用支援に積極的に取り組んでまいります。

【J - クレジット等売買仲介実績】

日南町J-クレジット売買仲介実績			J-クレジット売買仲介実績 (含む他の自治体、民間事業者保有分)		
今回	1件	23t-CO ₂	合計	80件	3,863t-CO ₂
合計	37件	1,060t-CO ₂			

(2020年6月5日現在)

- J - クレジット：二酸化炭素等の温室効果ガスの排出削減量もしくは適正な森林整備等によって増加した温室効果ガスの吸収量をクレジットとして認証されたもの。
- カーボン・オフセット：自らが排出した温室効果ガスを、他者が実施した温室効果ガス削減・吸収事業で生み出されたクレジットを用いて自主的に削減する取り組み。



【日南町有林J - クレジット売買契約調印式概要】

日 時： 2020年6月5日（金） 14時00分～14時30分

場 所： 株式会社中海テレビ放送（鳥取県米子市河崎610）

出席者： J - クレジット販売者

（敬称略） <日南町>

町長

中村 英明

J - クレジット購入者

<株式会社中海テレビ放送>

代表取締役社長

加藤 典裕

J - クレジット仲介者

<当行>

執行役員米子支店長

吉川 浩

以上

<ご参考>

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部

「令和元年度地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」

当行取組事例：J - クレジットを活用したSDGsへの貢献 ～林業への資金循環創出支援～

（ https://kantei.go.jp/jp/singi/sousei/pdf/2005_research_kinyu1.pdf ）